

第2回認定校会議の質問・要望に対する回答集

内 容	詳 細	回 答
1 試験日程	<p>前回3/31、今回8/30と学生にとっては問題ないが、既就職者にとっては経営者的視点では受験困難。エステティシヤンの質の向上は現行スタッフの底上げが急務と認識しているため、試験は8～20日の間に行ってほしい。</p> <p>可能ならば、8月30日も日程変更を検討してほしい。</p>	<p>第8回筆記試験の2006年8月30日は変更できませんが、次回以降は日程の設定に配慮いたします。</p> <p>第9回：2007年1月10日(水)確定 第10回：2007年9月中旬予定</p>
2 実技試験	AEA実技試験の内容について。	<p>8月30日の筆記試験の際、受験者に実技試験の内容、準備物等に関するご案内を配布させていただきます。</p>
3 実技試験	実技試験の項目について	
4 実技試験	<p>認定校を試験会場として貸した際の実技試験中に、障害事故や設備・機器に損傷が発生した場合は保険等で保証されるのか。</p>	
5 実技試験	男性エステティシヤンも受験可能ですか	<p>受験可能です。</p> <p>男性受験者数が確定した後、対応策をお知らせします。</p> <p>(例)別室設定、衝立設定等</p>
6 試験全般	<p>筆記試験合格の有効期限は設定する必要がある。</p> <p>具体的な期限について検討する。</p>	<p>有効期限： 筆記試験の合格通知日の3年後の有効期限内に実技試験に合格した場合、資格を取得できます。不合格の場合、筆記試験合格は無効となります。</p>
7 資格全般	<p>廃止となるフェイシャル、ボディ、シニアの登録者に対しては、AEAが個別に文書で説明して欲しい。</p>	<p>文書で通知いたします。</p> <p>(詳細は「認定登録料・ディプロマ有効期限及び更新条件一覧」のとおり)</p>

8	資格全般	資格維持に伴う資格保持者(会員)に対して費用や時間的負担が最少であるよう、更新・付帯条件(掛かる費用については透明性・具体性を。付帯条件については簡素・高質・合理的な内容を)検討・考案いただきたい。	資格保有者になるべくご負担がかからない方向で検討しました。 (詳細は「認定登録料・ディプロマ有効期限及び更新条件一覧」のとおり)
9	資格全般	<p>認定登録料およびディプロマ有効期限 シニアからインターナショナルへの移行の場合、認定登録料・ディプロマ発行費用は通常どおり総額13,000円でよいかどうか検討する。また、有効期限は移行日より5年間でよい。</p> <p>シニアから認定への切替えの場合、認定登録料は無料とする。但し、ディプロマ発行費用については、無料にするか否か、または有料の場合、請求金額を(コスト3,000円)を検討する。 有効期限は、シニアのディプロマの有効期限をそのまま使用することでよい。</p> <p>フェイシャル、又はボディから認定への切替えの場合、認定登録料は無料とする。但し、ディプロマ発行料は請求するかどうか検討する。</p>	<p>(詳細は「認定登録料・ディプロマ有効期限及び更新条件一覧」のとおり)</p> <p>13,000円です。 有効期限はインターナショナルの資格取得日より5年間です。</p> <p>シニアの有効期限に合わせて、認定への更新手続きを行います。 その際の更新料・ディプロマ発行費用等は、無料となります。</p> <p>ディプロマ発行費用3,000円を請求します。</p>
10	資格全般	現在検討中の更新付帯条件について。 (例)セミナー受講・問題解答 など	(詳細は「認定登録料・ディプロマ有効期限及び更新条件一覧」のとおり) 資格保有者に対し、更新の案内とともに問題用紙(20~30問程度)を送付し、それを試験センターに送付、合格すれば更新の手続きをします。

11	資格の統合	フェイシャル・ボディの認定試験で、2007年1月の試験不合格者に対して、どのような対応をとるのか。	認定校卒業の方の方は、合格率によっては追試の実施を検討します。 既就職の方の方は残念ながら機会はありません。
12	資格の統合	フェイシャル/ボディ認定エステティシャンから認定エステティシャンにステップアップしなかった場合、ベーシック認定エステティシャンの資格を与えて欲しい。	資格更新時にベーシックの資格を付与いたします。 その場合、ディプロマ発行費用の3,000円が発生します。

13	資格の統合	AEA指定の通信教育問題集でボディ・フェイシャルの各不足分を履修することについての費用は、問題集購入代金と解答送付に掛かる実費だけか。 また、通信教育問題集は2006年7月発刊予定の問題集でも可能か。	問題集の購入代金はAEAで負担します。ただし解答用紙の返送料は受験者負担となります。 また、平成18年度版・新テキストで学習した方は、2006年8月発行の通信教育問題集でも可能です。
14	資格の統合	フェイシャルとボディ資格の統合の期限は2007年3月と定められたが、期限を2008年まで延長することの可否。	検討させていただきましたが、申し訳ありません。不可です。

15	資格の廃止	<p>質問 現シニアエステティシャンが資格有効期限内にAEA認定エステティシャン資格への申請書類提出により変更を行った場合は、ディプロマ発行料等の実費負担が発生するとのことだが、その実費額はいくらであるか、明示してほしい。</p> <p>質問 シニア廃止は協会側の都合であり、ディプロマの再発行を希望しない場合は、申請書類の提出によりAEA認定エステティシャンへの切替登録は確実に行われ、ディプロマを所有しないことへの弊害はないのか。 つまり、ディプロマを持たないことで何らかの弊害がなければ、シニアから認定エステティシャンへの登録切替に伴うディプロマ発行は各自の任意と考えて良いか。率直な要望としては、書類申請が受理された登録者にはディプロマの再発行及び送付を無償で行うよう検討願いたい。</p>	<p>シニアの有効期限日に、認定への更新手続きを行ってください。 なお、更新料等の費用は無料です。 (詳細は「認定登録料・ディプロマ有効期限及び更新条件一覧」のとおり)</p> <p>シニアから認定エステティシャンへの切替は、シニアの有効期限までは出来ません シニアの有効期限日に、認定への切替え申請書(フォーム検討中)をAEA宛に提出してください。 詳細については「AEA認定シニアエステティシャン資格をお持ちの方の手続き方法」をご覧ください。</p>
----	-------	---	---

16	新資格	AEAベーシック認定エステティシャンの制度の詳細。	カリキュラムについては「AEA認定エステティシャン養成制度カリキュラム」(6/20認定校会議・資料)のベーシック(基礎)をご参照ください。
17	新資格	ベーシック認定エステティシャンのカリキュラム・試験等の詳細はいつ決定するのか。	細目については、2006年9月に発行予定の「カリキュラム構成:理論課程」をご参照ください。 また筆記試験は2007年1月10日に実施。 実技試験については、認定校で実施していただきます。

18	認定講師	スタッフの質向上を唱える一方で、教える講師の資質及び技術・知識強化は必須と感じる。 今後、年1回でも講師だけの学ぶ場があればと考える。	将来的には必要な機会であると考えられます。具体的には認定校会議と併催する方向で検討していきます。
19	認定講師	認定講師資格を有する者は、国際エッセイ資格の保有が条件だが、更新についてはそれぞれ個別(講師国際エッセイ)に更新料が発生するのか。(両方の更新が近々に重なった場合、更新料・付帯条件で経済的、日程(時間)調整の負担が発生する)。	更新料については個別に発生します。付帯条件については質問12のとおり、各資格保有者になるべく負担のかからない方法を検討しました。

20	テキスト	テキストの正誤表配布日程について。	2006年8月より「エステサイト」に正誤表を掲載しています。
----	------	-------------------	--------------------------------

21	問題集	問題集選択制の可否(vol.2またはvol.3)。第8回筆記試験(2006年8月30日実施)については選択制となったが、その後の試験についても2007年3月あるいは2008年3月まで選択制にできるかどうかの可否。	2008年3月まで選択制とします。
----	-----	--	-------------------

22	通信教育	フェイシャル/ボディ認定エステティシャンから認定エステティシャンにステップアップする場合、希望者の申し出により通信教育を実施することだが、その申込方法は。	A E Aから資格保有者の方にご案内をお送りします。 問題集の購入代金はA E Aで負担します。ただし解答用紙の返送料は受験者負担となります。なお、フェイシャルをお持ちの方はボディ、ボディをお持ちの方はフェイシャルのみ解答してください。
----	------	---	---

23	通信教育	<p>質問 通信教育を認定校で実施するにあたり、受講費用・期間延長の継続料等の下限・上限を示す協会のガイドラインまたは規定はあるのか。</p> <p>質問 スクーリング実技実習にビデオ受講が認められているが、AEAの指定教材となる収録ビデオがあるのか。</p> <p>質問 質問 について規定や指定教材がない場合、認定校で自由に決めてよいのか。</p>	<p>ガイドライン・規定等はありません。認定校の任意で決めていただきます。</p> <p>AEA指定ビデオはありません。認定校の任意で決めていただきます。</p> <p>認定校の任意で決めてください。</p>
24	通信教育	<p>通信教育の受講資格は、AEA認定校基準に定める入学資格と同様か。同様ならば高等学校卒業者と同程度の学力を有する者とは具体的にどの程度が許容範囲なのか。例えば、義務教育修了者・高校中途退学者・認定高等学校以外の在学高等学生などが将来エステティシャンを職業として志すために通信教育受講を希望した場合などについては受講資格の許容範囲か。</p>	<p>原則は「AEA認定校基準」のとおりです。最終的には各認定校の責任でご判断ください。</p>
25	通信教育	<p>フェイシャル(又はボディ)の通信教育(期間1～3年)を受けているが、2007年1月のフェイシャル(又はボディ)最終の試験には、受講期間が1年未満なので受けられないのではないか。</p>	<p>カリキュラムを90%以上修了していれば受験できます。</p> <p>ただし、期間が1～3年となっているため、1年を経過しないと認定登録申請は受付ることはできません。</p>
26	その他	<p>各高校の教師及び父兄にとって、様々な団体の混在が未だ不透明と感じている状況にあると思う。</p> <p>協会として、各団体及び当協会や当業態の展望についての案内文を作成することは可能か。</p>	<p>各団体や当協会、業界の展望等については、状況は流動的なので基本的には案内文は作成しません。皆様からご質問があれば、その都度回答致します。</p> <p>今後は会報を定期的に発行する予定です。また、お知らせすべき情報については、会報とは別にHP上に「AEAニュース」を掲載し、お知らせする予定です。</p>

27	その他	<p>各企業の決算はおおよそ3月で次年度計画の中に学校・企業の両者よりHP・パンフレットまたは入学希望者の告知が決定する。については、費用等についても多額の経費が発生するので制度改訂(テキスト・問題集含む)については、年度計画上2月認定校着地を頂ければ、経費・不備・クレームの改善になるのでは。</p>	<p>第3回認定校会議を2006年12月11日(月)に開催し、制度改訂等を少しでも早くお知らせするようにします。 また、第4回は2007年12月開催の予定です。</p>
28	その他	<p>様々な変更がホームページで連絡となるがサイトアップ日を毎月定例化するのは可能か。</p>	<p>皆様にお知らせしたい定常の情報については、毎月1日に更新するようにします。 なお、緊急にお知らせしたい情報については、必要に応じ随時掲載します。</p>